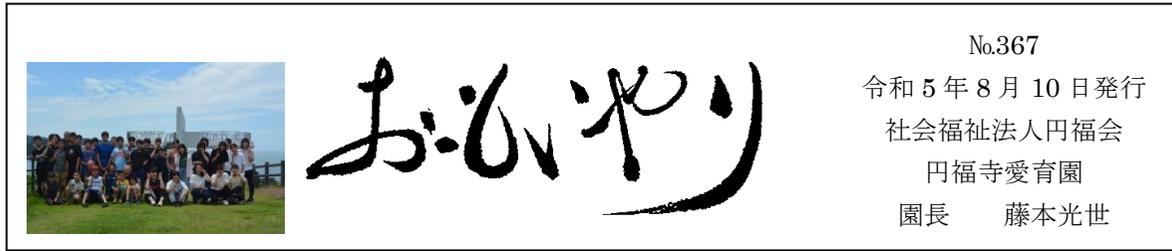


事故もなく、無事海行事を楽しみました。今月はキャンプです。



創立 75 周年

園長 藤本光世

夏休みになりました。子どもたちは7時起床です。普段より1時間遅いです。でも規則正しい生活は変わりなく、朝のおまいりに行くと、みんな勢よく雑巾がけをしています。えらいもんだなあと思います。昼からは、職員があちこちに連れ出して、遊んでいます。先日は、ある方がステーキをたくさん寄付してくれて、ステーキ大会と併せてカキ氷大会をしました。子どもたちはとっても楽しそうでした。

ところで、今年は創立 75 周年に当たります。

記念事業として何をしようかと、一年以上も前から考えていました。

高澤理事さんから、「おかあさん」の顕彰をしようと、何年も前から言われていました。75 周年記念に何かできないかなあと考えていました。モニュメントを建てようか、でも管理棟の周囲は、お地蔵さまがあるし、はきものをそろえる碑もあるし、道路側には児童センターの表示やポスターを貼れるボードもあるので、場所がないなあ。

考えているうちに時間だけが経っていきました。

6月末に理事会がありました。75 周年記念事業について議題にしました。すると議長の渡邊理事さんが突然「理事長一任にしましょう」と発言し、そのまま決まってしまうました。

さあ大変です。記念式典は11月11日に決まっています。それまでに記念事業を決めなければなりません。

愛育園の中に、75 周年記念事業実行委員長を立ち上げました。

私が実行委員長、両ホーム長が副実行委員長、そこに調理主任と庶務がくわわって5人態勢です。

記念事業の目的を「おかあさんの顕彰」と「児相や県の職員や関係者に今の愛育園の児童を知ってもらおう」ことにしました。そしてテーマは『大慈悲心』です。これはお釈迦さまの御心ですが、まさに「おかあさん」の心です。

係り分担を決めました。記念式典は両ホーム長、記念誌は庶務とまごころホーム長、記念碑は

園長、記念事業は全員です。私はすべてに関わります。

記念事業をなににしようか。何しろ「理事長一任」を取り付けてあるので、気持ちは楽です。両ホーム長も調理主任も期待しているようです。「仮に」でいいですから、お考えを言ってくれませんか、と迫ってきます。

私が話しました。「近頃の夏は暑いなあ。みんな寝苦しいかなあ？」

両ホーム長「とっても寝苦しいです。朝起きた子どもたちがぼーっとしています。職員もよく休めません。」すごく、何かを期待しているようです。

私「そうだなあ、職員も子どもも健康が第一で、夜によく眠れないと大変だなあ。」

両ホーム長「大変です。大変です。」期待が膨らんでいるようです。

私「それなら、75 周年で児童棟のすべての部屋にエアコンを入れてあげようか。」

両ホーム長「えーっ。それ本当ですか。それなら他に何もありません。子どもたちも喜びます。仮に、ではないですよ。」

私「「仮に」はやめて、これを75 周年の記念事業にしましょう。」

みんな「賛成です。賛成です。」

こうして、記念事業として職員の部屋を含めた全居室にエアコンを設置することにしました。

みんな「子どもたちは大喜びすると思います。」

私「目的に沿って、ルールを決めて使ってくださいね。」

両ホーム長「わかりました。きっとそうします。」

私「ところで、ところで…」

両ホーム長「えーっ、まだあるんですか。「仮に」でいいですから、教えてください。ぜひお願いします。」期待が膨らんでいるようです。

私「子どもたちの部屋のテレビは小さくないかなあ。」

両ホーム長「小さくて、しがみついてみているような状態です。壁掛けテレビのようにして、大画面のものをみんなで見られるようにすれば、子どもたちはきっと大喜びすると思います。子どもたちの喜ぶ姿が浮かびます。子どもたちにとってテレビは唯一の楽しみですから。」

私「あのテレビは、12 年前に長野南ロータリーの創立 30 周年で寄付してもらったものだから、古くなったかなあ。みんな、どうやって見ているの？」

両ホーム長「テレビの番組は取り合いで、時間を決めていて、園長先生が大好きなある子はテレビの前で踊るのが大好きで、汗かいて踊っていて、大きくしてやればきっと喜びますよ。」

私「そうかなあ。そんなに喜ぶかなあ。」

両ホーム長「喜びます。喜びます。」

私「それじゃあ、エアコンに加えて、テレビを大きな画面に入れ替えてあげましょう。そして録画機も三チャンネル同時録画ができるように入れ替えましょう。」

両ホーム長「ばんざーい、ばんざーい」

こうして、75周年記念事業は子どもの生活環境改善に、全室エアコン設置とテレビを大画面に更新することに決定しました。併せて、調理の古いガスレンジも入れ替えることにしました。

テレビは7月中に入ったのですが、エアコンは大工事なのでお盆前くらいは時間がかかりそうです。おまいりで、エアコンとテレビの更新の話をお聴いた子どもたちは、とっても嬉しそうでした。

「おかあさん」顕彰モニュメントの案はできているのですが、それは次号にいたします。楽しみにしてください。

第二回 臨海学習

主任指導員 T.M

7月16日、臨海学習行事に行ってきました。この臨海学習は昨年からスタートした行事です。日ごろから、野山や川での自然遊びで大はしゃぎして思い切り遊んでいる子ども達の様子から園長先生が発案してくださいました。

子ども達は去年の楽しさを覚えていて、出発前からワクワクしていました。しかし、鯨波の海水浴場についてみると、天気は快晴なのですが前日までの悪天候の影響で磯採集に適していた岩場の波がやや高く、水も濁っていたので、思うように海の生き物を捕まえる事ができませんでした。というより、手持ちの網では1匹も捕まえられませんでした。唯一、罎を仕掛けた網の中に10センチ程のフグが1匹だけかかっていた。去年は100匹以上みんなが捕まえて大盛り上がりだったのに、、、非常に残念でした。しかし、愛育園の子たちや職員はそんなことではへこたれません。磯採集が無理なら、普通に海水浴を楽しんじゃえ！とばかりに、砂浜側に移動して、波打ち際で思う存分遊びました。大きい波や小さい波が交互に来て、流されないように踏ん張ったり、ライフジャケットや浮き輪を装備してプカプカ浮かんだり、それだけの事なのに飽きる事もなくずっと遊んでいました。本当に純粋な子ども達です。そして、こんな質問をしました。

「磯採集と波遊び、どっちが楽しい？」と。すると、多くの子達から「こっち(波遊び)の方が楽しい！」と遠慮のない答えが返ってきました。アクシデントで急遽予定変更となりましたが、おかげで子ども達に新しい楽しい体験をさせる事ができました。私も「遊び」は固定せずに、状況に応じたり、自由な発想でのびのびと柔軟に考える事が子供の成長につながることを再認識できました。

また、このような予定変更をしても、一斉に荷物を運んで移動したり、みんなで協力できる姿や、誰一人自分勝手に危険な行動をしない所が本当に素晴らしく感じました。多くの先生方が感じていましたが、子ども達が準備や片付けを率先して行ってくれた姿にも人としての成長を感じました。

今年の臨海学習を受けて、来年はどのような臨海学習を計画しようかともうワクワクしています。子ども達の心が充実した良い行事ができましたので、次のキャンプ行事も子ども達と最高のものにしたいと思います！

『臨海学習』

先日、7月16日に臨海学習として、新潟県の鯨波海水浴場と上越水族館に行ってきました。今年で2回目ですが、子どもたちのわくわくした雰囲気は日増しに高まっているように感じていました。事前に下見に行っているのですが、その時がちょうど波が荒れており、当日もこんな感じだと危ないかと心配していました。すると、当日、まさかの下見以上の荒れ具合で、まごころホームの子どもたちは「怖い！」と悲鳴を上げるほどでした。当初予定していた磯採集は厳しいということで、岩場から浜辺の方に移動して安全な範囲内で海を楽しみました。去年は着なかったライフジャケットを今回は中高生女子は全員着用で海に入ったおかげで、子どもも職員も安心して過ごすことができました。去年少し怖い思いをした子どもも今回はおおはしゃぎしており、いい笑顔が見られたのでとても良かったです。また、上越水族館では館内見学のほかに水族館の飼育員さんから特別に海の生き物についてのレクチャーを頂き、初めて知ったこともたくさんあったのでとてもいい機会になりました。1日あっという間で、全員真っ赤に日焼けしていましたが、たくさん楽しい思い出が作れたので良かったです。磯採集だけは心残りなので、ぜひみんなでリベンジしたいと思います。



まごころホーム T・S

第二回臨海学習

まごころホーム T・M

臨海学習をするため鯨波海水浴場、上越水族館に行ってきました。準備の段階から子どもたちはとても楽しみにしており、「去年はこんな生き物を捕まえたんだ」とか「今年は魚をいっぱい見つけるんだ」などと熱心に話してくれました。そして当日になり海水浴場に到着すると波がとても強く、海の生き物も見つけにくい状況でした。そのような中でもあきらめずに岩場の近くにいる生き物を探したりしました。中3のHちゃんと一緒に岩の間のカニを何匹か捕まえることができました。小さなカニでしたが捕まえたときはすごく嬉しかったです。その後は磯採取を終え、うきわやライフジャケットを着けて波に揺られました。最初は波の強さに圧倒されていた子どもたちでしたが徐々に慣れていき楽しそうでした。強い波が来ても怖がらず波に乗っていく姿

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

も見られ、驚きました。子どもたちの笑顔をたくさん見ることができました。

水族館では職員の方に海の生き物のレクチャーを受けてから中を回りました。お話の中には海の生き物について初めて知ることが多くあり、館内を回るのがより楽しくなりました。イルカやペンギンなど可愛い生き物がたくさんいて、子どもたちもテンション高く見ていました。一日を通して海に触れることができ、楽しい貴重な体験になりました。

臨海学習

あおぞらホーム I・A

7月16日に臨海学習に行ってきました。私は愛育園に入職して初めての行事だったので、とても楽しみにわくわくしていました。始まる前から、先生たちが下見でつかまえてきた魚を見たり、しおりの読み合わせをしたり、シュノーケルなどの準備をしたりと、子どもたちの中でも臨海学習に向けてどんどん気持ちが高まっているのを感じていました。

当日は、4時30分起床と普段よりもとても速かったにも関わらず、遅れる子はいなく、みんなわくわくした表情を浮かべていたことがとても印象的でした。実際に着くと、最初はおそるおそるだった子どもたちも、職員と一緒に最後には全力で楽しんでいて、子どもたちの笑顔と一緒に私自身も全力で楽しんだ行事となりました。最初は波が怖くて、顔に砂が着くのを嫌がっていたHくんですが、最終的には波でひっくりかえって顔に砂がついてもへっちゃらで、全力で楽しむ姿がありました。子どもたちと一緒に普段よりも特別でわくわくする瞬間を一緒に過ごせたことが、とても嬉しく、特別な夏の思い出になりました。この行事が成功した陰には、事前にたくさんの準備をしてくれた先生方や、当日たくさんのお手伝いをしてくれた子どもたちの存在があると強く感じました。みんなが楽しめるように、誰かのために率先して動く姿がたくさんあったことが、今回の臨海学習が成功した要因としてとても大きかったと思います。

臨海学習

あおぞらホーム M・N

7月16日、愛育園では臨海学習があり園のみんなで鯨波に行きました。私自身、初めての臨海学習だったので、どのような雰囲気なのかワクワクしていました。

普段海を見る機会がないので、バスの中から海が見えた瞬間、子ども達が「わー！海だ！」とキラキラしている表情を見て温かい気持ちになりました。

海に着いてから、生き物を捕まえるため子ども達は必死に探していましたが、この日は波が高かったため捕まえるのが難しかったです。そこで途中からは海水浴を楽しみました。私がペアだったA君は、海へ入るのを怖がっていましたが、一回入ってみると楽しさに気付いたのか後半では得意げに泳いでいる姿を見ることができました。

(令和5年8月10日発行 月刊「円福」515号付録)

午後は上越水族館へ。海で捕まえた生き物の飼い方のお話を聞いたり、ここでしか見られない生き物を見ることができました。

暑い中たくさん体を動かし、帰園してからは疲れている様子もありましたが、片付けを最後まで手伝ってくれた子ども達の力は本当にすごいなと強く感じました。思わずクスッと笑ってしまうような出来事や子ども達の全身で楽しんでいる姿を近くで見られて濃い思い出となった行事でした。



第二回臨海学習

あおぞらホーム S・S

7月16日、第二回臨海学習を執り行いました。昨年行った時はとても当日のコンディションがよく、水槽一杯に海中生物を持ち帰ることができ、今年もたくさん捕まえることができることを期待し、当日まで準備を行ってきました。まだ2回目にして、子どもたちからの期待の高い行事でもあり、大きい魚を捕まえる、飛び込みをしたい等の話に期待を膨らませる子がとても多くいました。

そして当日。直前までの一週間は安定しない天気、ずっと雨か曇りという天気でしたが、当日は改正に恵まれました。しかし、だいぶ潮が荒れており、磯採集をするには厳しいコンディションで、波に流されながらも必死で磯採集を行いました。目標の魚を見つけても、波に流され



うまく捕獲できないですが、とても皆真剣です。しかし、監視員より、これ以上の採集は危険との通達があり、泣く泣く採集は諦めることになりました。その後は横幅の広い海岸へ行き、海水浴を楽しみました。小学生たちは初めてのしっかりした海岸で、浮き輪に乗って波打ち際で潮に押されたり、引かれたりするのをとても楽しんでいました。時間を忘れるくらい、

全員が海水浴を楽しみました。午後は昨年も予定はしていた上越水族館へ行き、海中生物の飼育のレクチャーを受けました。なかなか見ることのできない種類の生物を見れ、好奇心を刺激されるよう、見学を楽しみました。臨機応変に動くことを試された今回の行事でしたが、皆が協力することで、誰も事故や怪我無く終えることができました。今後も恒例行事として行っていければ

と思います。

臨海行事 あおぞら児童感想

7月16日に自分は海に行きました。去年も行っていて、魚を多くとってきていたけど、1か月くらいたつとカニくらいしかいなくなってしまったので、今日の海に行ってから3か月以上魚を生かしたいです。と、思い日本海側の海にいきました。でも、1週間くらい前から雨がふっていて、はげしい波があり、去年と同じ場所で遊ぶことが、できませんでした。しかも、波が大きくて、魚を見つけることができませんでした。でも、砂浜の方で遊ぶことになりました。もぐって見ると魚がたくさんいました。でも昼なので魚が、活発的に動いて、つかまえるのがむずかしかったです。そのあとも、うきわで、ゆられてあそんだり、もぐったりしました。そのあとも、1時間以上もあそんでから、写真を取り、バスにのり、40分かけて、上越水族館に到着してから、3階のイルカショーのところについて、10分くらい魚のかいかたをレクチャーしてもらいました。そこからは、タコやエイ、クラゲなどいろんな種類の魚を見ることができました。最後にはマゼランペンギンを見ることができました。ペンギンの巣の中には、卵が2つありました。水族館を出たあとは、バスで園にかえりました。そのあと片づけをしました。ちゃんとやることをやって、休みました。すごく楽しい1日になりました。また、来年も行きたいです。

(高1 T・Sくん)



七月十六日に臨海学習がありました。場所は去年と同じ新潟県柏崎市でした。去年よりも三十分早い、朝四時半に起きて五時過ぎに出発しました。海についたら去年とは違って、波が高い状態でした。そのため最初は浜辺の方の海でならしました。自分はさらさらの砂の上に落ちている貝殻を探しました。たくさん落ちていましたがあまりきれいな貝殻は落ちていませんでした。体をならしたあとに去年と同じ場所に行きました。去年はたくさん魚がいてたくさんつかまえました。今年は波が高いせいなのかかわなに入っていた大きめなフグしかつかまえられませんでした。でも大きめなカニを何匹かつかまえることができたので良かったです。その後波が高く岩などが危なかったのもまた浜辺の方の海で遊びました。自分は浜辺で寝ましたが寝ごちが最高でした。お昼はうどんを食べました。暑い日に冷たいうどんはとてもおいしかったです。お昼を食べた後に水族館へ行き、レクチャーしてもらいました。レクチャーの前にイルカショーを少し見ました。迫力がすごかったです。レクチャーは色んな魚や生き物の話を聞き

ました。レクチャーの後に水族館を拝見しました。たくさんの生物がいてびっくりしました。短いようで長い一日で疲れました。

(高1 Y・Yくん)

臨海行事 まごころ児童感想

みんなで協力しあえた臨海行事

今年で二回目の臨海行事は、朝がとても早かったです。本当は四時半起床だったけど楽しみすぎて四時十分に起きてしまいました。その後もお参りを大きい声でやったり、荷物運びをスムーズにやったりと、バスに乗り込むまでもみんなで協力して予定よりも早く出発することができました。車中も、みんなで楽しく話したり、バスレクを楽しんだりできて良かったです。そしていざ海に着いてみると、すごく荒れていてびっくりしました。それと同時に今日は本当に臨海行事ができるのかという不安でいっぱいでした。なので、最初は体慣らしに浜辺へ行って少しもぐったりういたりする練習をしたりしました。けっこう立っているだけでも転びそうになって大変でした。その後は磯採集する所へ戻ってきて活動を開始しましたが、さすがに入るのは怖かったのも岩場の所でカニを取ったりしました。本当は魚も取りたかったけど、全然取れなくて悔しかったので、来年こそはリベンジしたいです。その後も波は高くなるばかりだったので危ないとのことでもう一度浜辺へ戻りました。そして海の中に入ったり、貝がらを探したりしました。そしてお昼を食べました。うどんはとってもおいしかったです。また、その後の後片付けもみんなで協力してスムーズにできたのでよかったです。

(中3 Y.Hさん)



臨海行事

7月16日に海に行きました。波が高くて、魚が全然なくて魚をたくさんつかまえることはできませんでした。でも、たくさん遊べたのでよかったです。昨年はおぼれてしまったけど、今年はライフジャケットを着たので、安全に楽しむことができました。波がすごかったので、とても楽しかったです。海の後には、上越水族館に行きました。飼育員さんのレクチャーを聞いて、水族館にいる生き物のいろんなことがわかりました。館内見学では、暗い所を歩きながらいろんな魚たちを見ることができました。でかくてもちわるい魚もいたけど、ちいさくてかわいい魚もたくさんいておもしろかったです。特にカクレクマノミがかっこ良かったです。帰ってきてからは、服

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

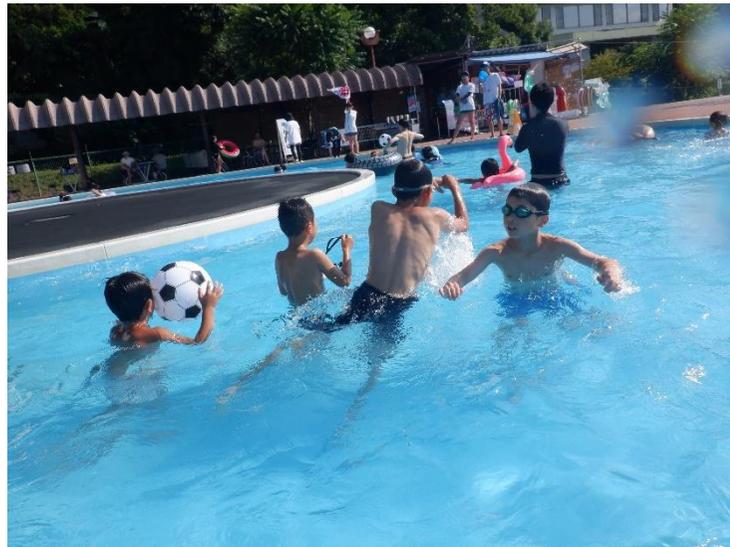
や道具の洗い物などスムーズにできてよかったです。来年も行けるように日々の生活をしっかり頑張りたいです。

(高1 S・Rさん)

あおぞらホームだより

あおぞらホーム A・Y

梅雨も明け、厳しい猛暑が続いていますが、子どもたちも1学期を終えていよいよ夏休みに入りました。愛育園の夏休みといえば、毎年恒例の肝試しやキャンプ行事があります。肝試しもキャンプ行事も毎年とても盛り上がるので子どもたちもきっと待ち遠しさでいっぱいなのではないかなと思います。夏休みに入ってから連日プールへ遊びに行ったり、昆虫採集に出かけたりと夏らしさ全開でこの夏休み期間を過ごすことができていると思います。まだまだ長い夏休みは始まったばかりではありますが、子どもたちにとって良い思い出になるようサポートしていければと思います。



まごころホームだより

まごころホーム H・M

段々とセミの鳴き声が賑やかに聞こえてきています。本格的に夏に入ったことを感じさせています。子どもたちは一学期を乗り越え、夏休みが待ち遠しい様子が伝わってきます。コロナが明け、今年はいろんなところに遊びに行けるかな？やプールに行きたいな！とうきうきとした様子で話していました。子どもたちにとっては一日一日が大切な時間なので、時間を有効に、この夏はたくさん思い出をつくらせていきたいと思います。

来月には、キャンプ行事も控えています。愛育園一丸となって協力し、大成功させたいと思っています。

暑さも厳しくなってきました。子どもたちの体調管理にはしっかりと気を配って良い夏休みを過ごしたいと思います。

(令和5年8月10日発行 月刊「円福」515号付録)

調理室だより

調理員 M・T

今年の夏はとても暑く、戸外の最高気温は39℃にまで上がっているところもあります。ひと昔前は、長野県といえば全国でも避暑地に位置づけられ、山にでも登れば涼しかった記憶がありますが、今はどこに行っても暑くて、出かける気にもなりません。

猛暑の中でも、園の子供達は、釣りや昆虫採集に行ったり、プールに行ったり、暑さに負けず元気いっぱい過ごしています。そんな子供達でも、暑いと食欲が落ちてしまうので、エアコンを入れ、食堂を快適にし、美味しくご飯を食べてもらうようにしています。

調理では、加熱調理などで厨房内が高温多湿となる為、食中毒予防からエアコンを活用し、厨房の温度管理に気を付けています。また、熱中症にならないよう自己管理に努め、おいしい料理を提供したいと思います。



今月の特別メニューの紹介です。

7日(金) 七夕メニュー

- ・七夕冷やししゃぶしゃぶそうめん
- ・七夕デザート

28日(金) 土用丑の日メニュー

- ・うな井
- ・カミカミサラダ

29日(土) ステーキ大会

30日(日) Yくん誕生日メニュー

- ・サンドイッチ
- ・鶏の唐揚げ
- ・マセドアンサラダ
- ・スーパーサイダーゼリー

